

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 20 日

事務事業名		真壁保健センター管理運営事業				事業区分		担当	
						新規/継続		事務事業No. 010203000315	
						単独/補助		040401	
政策体系		政策体系上の位置付け				主要事業		所属課	
総合計画の施策名		0102 健康づくりの推進				市長マニフェスト		健康推進課	
政策名		01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり				未来PJ事業		グループ	
施策名		02 健康づくりの推進				合併建設計画事業		母子	
手段名		03 ③母子支援体制の充実				事業期間			
		財務会計上の位置付け				単年度繰返し (平成20年度~)			
予算科目		一般会計				真壁保健センター管理事業		期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
会計		01 04 01 01 04 00							
款									
項									
目									
事業									
細									
法令根拠		地域保健法							

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像) 真壁保健センターは昭和56年に、地域保健法第18条第2項により設置された、市民に対し健康相談、保健指導及び健康診査等、地域保健に関し必要な事業を行うことを目的とする施設である。当事業は、当該施設を安全かつ快適に使用できるよう維持管理を行うものである。
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・当該施設での、総合相談・乳幼児健診等事業の実施 ・維持管理のための業務委託 ・委託業務等の立ち合い・管理業務

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移										
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)			
			業務委託件数	件	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	
			立会い・管理業務回数	回	43.00	43.00	43.00	43.00	43.00	
・当該施設での、総合相談・乳幼児健診等事業の実施 ・維持管理のための業務委託 ・委託業務等の立ち合い・管理業務	施設開放日	日	60.00	56.00	60.00	60.00	60.00			
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)			
			市民	桜川市人口	人	42,000.00	41,278.00	41,008.00	40,738.00	40,467.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)			
			適切な維持管理により、安心して健康相談・保健指導及び健康診査等を受けていただくことで、疾病の予防や健康保持及び増進に繋げる。	述べ使用人数	人	1,538.00	1,716.00	1,540.00	1,540.00	1,540.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			

(3) 投入量(事業費)の推移			28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	期間限定総投入量
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	3,816	2,723	2,867
	事業費計(A)	千円	3,816	2,723	2,867	
人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	
	述べ業務時間	時間	120.00	120.00	120.00	
	人件費計(B)	千円	351	351	351	
トータルコスト(A)+(B)		千円	4,167	3,074	3,218	

事業費の内訳	29年度事業費 実績(千円)			30年度事業費 予算(千円)		
	11 需用費	854		11 需用費	942	
	12 役務費	45		12 役務費	56	
	13 委託料	743		13 委託料	780	
	14 使用料及び賃借料	1,081		14 使用料及び賃借料	1,081	
				19 負担金補助及び交付金	8	
	合計			2,723	合計	

(4) 当該年度の実施内容		30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する				
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 				

事務事業名	真壁保健センター管理運営事業	事務事業No.	10203000315	所属課	健康推進課
-------	----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 昭和56年に、真壁地区の地域保健活動の拠点施設として当該施設を設置した。当初は管理者が常駐していたが、平成20年7月1日協議の結果、指定管理者制度から現在の直営管理へと移行した。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 施設の老朽化による設備の故障などが見受けられる。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	地域保健に必要な事業を行うことで、疾病の予防、健康の増進を図っており、市民の健康に対する意識の向上に繋がっている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市民の健康保持のため健診や健康相談、乳幼児への育児相談や健診等を実施するには、施設の適正な管理が必要である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	当該施設は、地域保健に関する事業を行うことを目的に作られたものであり、現状で目的に沿った使用をしており、向上余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	国庫補助を受け、市民の健康づくりの拠点として、住民健診、乳幼児健診、育児相談等の実施のため設置した施設であり、他に代替は出来ない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	岩瀬・大和のそれぞれの地区で検診等の事業を行っており、真壁地区については当該施設で実施しているため、他の地区で実施することはできない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	維持するための最低限の経費であり削減はできない。人件費についても、施設の維持管理のための最小限の人員であり、削減の余地はない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	岩瀬・大和地区でもそれぞれ検診を行う施設があり、真壁地区については当該施設の利用が適切である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 職員が常駐していないため、施設管理に不安がある。真壁地区の健康づくりの拠点として、常に保守点検等が必要である。
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) コスト削減 維持 増加 成果向上 維持 低下
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
---	--